
カリキュラムポリシー（C P）教育課程の編成の方針

■ 2021年度以降の入学生

全学科共通カリキュラムポリシー（C P）教育課程の編成の方針

本校では、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成します。また、各授業科目については、産業界・企業と創る「人財育成目標」に基づいた「人財育成シナリオ」を構築し、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とします。さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴取する「教育課程編成委員会」を毎年開催し、カリキュラムの定期的な見直しを行います。

- ①高い専門知識・技術力の養成と、企業と連携した職業実践的な教育課程とする。
- ②社会人としての基礎的・汎用的能力養成と、人間性を高める教育課程とする。
- ③自発的な学びと成長を促し、持続的な学修効果が得られる教育課程とする。

グラフィックデザイン科 カリキュラムポリシー

【シナリオ1】

グラフィックデザインに必要な専門基礎知識、ソフトウェアの基礎技術を習得する。

【シナリオ2】

デジタル/アナログ分野を問わず、表現技法における基礎となる描画力・観察力・構成能力を習得する。

【シナリオ3】

イメージしたグラフィックデザインの要素を的確に形にすることができる。商業デザイン分野の各種表現を身に着ける。

【シナリオ4】

グラフィックデザイナーとして必要な写真技術を身に着ける。基本的な映像技術を身に着ける。

【シナリオ5】

紙、WEB 等の媒体それぞれの特性を理解したデザインを効果的に制作・提案することが出来る。

【シナリオ6】

様々な印刷媒体の制作実習を通して、ポスター・冊子・パッケージ・特殊印刷等において、レイアウトから入稿までの DTP 技術・知識を身に着ける。

【シナリオ7】

コンセプトワーク、プロモーション戦略立案、CI・ブランディング等の上流工程から最終のアウトプットまでを実行できる。また、クライアントの要望に沿った広告制作を可能にするレベルを目指す。

【シナリオ8】

各学年、最終学科全体のカリキュラムの積み上げの結果として、自ら計画したテーマに従って成果物を制作できる。

デジタルコンテンツ科 カリキュラムポリシー

【シナリオ 1】

コンテンツ制作の現場において汎用性の高いソフトウェアの基礎的な技術を習得することを目標とする。ドロー・ペイントツール知識、レイアウト知識、映像制作ツール知識、WEBの仕組みを実践的な利用方法で学習し、専門技術を身につける。

【シナリオ 2】

映像コンテンツ分野・写真撮影の知識と技術を習得することを目標とする。SNS発信、デジタルサイネージ、インフォムービー等を学ぶことに加え、マーケティング知識を交えたPR動画・広告動画の制作方法を学ぶことで撮影・編集・制作技術だけでなく戦略的視点をもったコンテンツ制作・配信の方法を身に着ける。

【シナリオ 3】

WEBデザイナーに必要となる知識の習得を目標とする。WEBデザインの基本的な考え方HTML・CSSを学習することでWEBの基礎知識を身に着ける。

【シナリオ 4】

マーケティングを意識した戦略的なWEB制作を行い実務に近い発想・技術を身に着けることを目標とする。マーケティング・プログラミング・運営の知識と技術を学習することで一通りのWEBページ制作をする技術・知識を習得する。

【シナリオ 5】

アプリ開発に必要なプログラミング言語、制作の流れを知る事を目標とし、プログラミング・アルゴリズム・UX・電子メニュー・書籍等について学び、アプリ開発に必要な知識と技術を習得する。

【シナリオ 6】

各学年のカリキュラムの積み上げの結果として、自ら計画したテーマに従って成果物を制作する事を目標としポートフォリオ制作・修了制作・卒業制作展を企画し学習していくことで積み上げた内容を確実に身に着ける。

CAD デザイン科 カリキュラムポリシー

【シナリオ 1】

ものづくり業界に必要とされるものづくり基礎知識の習得を目標とする。材料力学や製図の基礎知識・技術を修得し、ものづくり業界において製品に対して最適な材料の選択、強度不足の際の補強方法、製図の作図を身につける。

【シナリオ 2】

設計・デザインで必要となる CAD 操作技術の習得を目標とする。2次元 CAD、3次元 CAD それぞれの操作技術を修得する。設計・デザインにおいて、目的に応じた形状の作図・モデリング、後工程で修正可能な履歴作成技術を身につけ、効率的なモデリングを可能とする。

【シナリオ 3】

CAD を扱う上で必要なコンピュータ・CAD 等の知識を習得を目的とする。一般的なモデリング手法やツール、コンピュータ知識を学習し、CAD に必要なハードや各ツールの理解し、CAD に必要なハードの準備や一般的なモデリングを行えるようにする。

【シナリオ 4】

業務を円滑に進めるための対人スキル・目標達成スキルを身につけることを目的とする。視覚的に伝達する手法や問題を解決する手法を学習し、業務において他者に視覚的に自身のイメージを伝える、基本的な問題を解決するための技能を身につける。

【シナリオ5】

機械部品を扱う際に必要な機械やシステムの基礎的な知識や技術の習得を目標とする。機械要素や機械システム、それらを使った物やサービスを創りだすプロセスを学習し、最適な機械部品の選定、簡易的な機械部品・システムのモデリング・組み立てを行える。

【シナリオ6】

ものづくりに従事する者としての資質を向上するために、基本的な各製造工程の理解を目的とする。製造に必要な加工・生産・解析工程を学習し、各工程の基本的な知識の習得、及びそれらを踏まえた形状作成・修正を可能とする。

【シナリオ7】

社会の要求を解決するためのデザイン・モデリング技術の向上と実物化を目的とする。指導教員の下で課題の設定や計画・遂行を行い自身でデザイン・モデリングする。与えられた制約の下、形状のデザイン・モデリングを完遂する技術を修得する。

【シナリオ8】

各学年の通過点、最終の学科全体のカリキュラムの積み上げの結果として、これまでに習得した知識や技術を実践的に応用することを目的とする。自身で計画し、結果を解析・考察・修正することで、問題解決のための改善・実行力を養成し、結果をまとめ上げる能力を身につける。

メイク・ブライダル科 カリキュラムポリシー

【シナリオ1】

接客業に必要なとされる豊かな表現力や、美容従事者としての所作を身につける。世界的美容文化を学ぶことで、多様なお客様にも対応が出来る感性や思考力を磨く。

【シナリオ2】

正しいマナーや言葉使いを学習するとともに、顧客心理やお客様視点を理解する。お客様への心遣いや、共感力・提案力の高い接客カウンセリング技術を身につける。

【シナリオ3】

PCの基本操作や、パワーポイントの作成と活用方法を学ぶ。メイク・ブライダル業界で急速に求められているプレゼンテーション能力や発信力を身につける。シンプルで的確な表現方法を身につける。

【シナリオ4】

肌の基本構造・お客様の肌悩み・美容法の基本を学習し、スキンケア選定が出来るようになる。肌土台や個性にあったメイクを施術出来る。イメージクリエイションを理解し、全ての年代、ジェンダーのお客様に似合わせる技術を身につける。

【シナリオ5】

ヘアアレンジに必要なベース作り、スタイルに最適なアイテム選定が出来る。イメージに合わせたヘアスタイルが作れ、かつ似合わせが出来る。ヘアアレンジ理論を理解しトレンド・メンズ・七五三等のヘアアレンジを身につける。

【シナリオ6】

一眼レフカメラ操作法、光源など写真の基礎を学びヘアメイク作品をスチール・動画で制作する。マーケティングを意識した作品制作をすることで、より発信力の高いクリエイションの考えを身につける。自身の考えを美容で表現出来る。

【シナリオ7】

ブライダルに必要な、知識マナーを身に付け、ブライダルに必要な洋装・和装ヘアメイク、かつらや衣装の実技が出来る。婚礼企画、プランや進行などを全て学生で行う模擬挙式を通じて、技術だけではなく婚礼に関わる姿勢を身につける。

【シナリオ8】

ブライダルやフォトスタジオなどで必要な、和装の実技を学び、浴衣・訪問着・振袖・袴において必要な補正・衿付け・着付けが出来る。技術だけでなく、文化や作法も学ぶことでより深い和装の提案方法を学ぶ。

【シナリオ9】

ネイル・アロマ・エステの基礎技術を身につけ、トータルでの美容提案が出来る。各業界の最新美容を学び、流行に合わせて基礎をアップデートできる術を身につける。

【シナリオ10】

二年間の集大成にふさわしい作品作成と、時代に合った最適な表現方法で美容を通じて発信することが出来る。

AI×コンピュータ科 カリキュラムポリシー

<<プログラム選択>>

【シナリオ1】

社会人に必要となる会社組織の構造と情報システム戦略に関わる基礎知識の習得を目的とする。会社組織の構造と経営戦略、情報システム戦略、プロジェクトマネジメントなどの企業内での IT 化を進めるための知識を身に付ける。

【シナリオ2】

システムエンジニアやプログラマーに必要とされる基本的なシステム開発の技術の習得を目標とする。システム開発の基礎知識、アルゴリズムやデータ構造の考え方、コンピュータのハードウェアやソフトウェア、ネットワーク技術、プログラム開発環境などの基礎知識を身につける。

【シナリオ3】

プログラム開発の基礎技術の習得を目標とし制作演習を行う。システム設計基礎、アルゴリズムとデータ構造で学習したシステム設計の知識をベースに、機能要件に合わせたプログラム開発を行い、システムを段階的に作り上げる技術を身につける。

【シナリオ4】

IoT 時代を支える技術計算や制御に強いプログラミング技術の習得を目標とし制作演習を行う。1 年次には、C 言語を中心に Windows 系アプリケーションと組み込み系プログラム開発技術、2 年次には、C 言語や JAVA 言語を使った組み込みシステムの開発技術を身につける。

主に企業で利用されるデータベースを活用したアプリケーション開発技術の習得を目標とし制作演習を行う。1 年次には、表計算ソフトに組み込むプログラミング技術や小規模データベースの構築を行う。2 年次には、C#とデータベースを連携した業務システムの開発技術を身につける。

【シナリオ5】

AI 技術の基本的な知識と技術の習得を目標とし既存の AI エンジンを利用した、AI 活用プログラムの制作演習を行う。機械学習、ニューラルネットワークやディープラーニングの基本的な考え方や Python によるプログラミング技術を身につける。

【シナリオ6】

基本情報技術者試験を合格するための対策講座であり、IT の基本的な知識やプログラミング技術、システム開発に関する知識やネットワーク、セキュリティの基本技術を学び、問題演習及び傾向対策を重点的にを行い、様々な角度から IT 技術を身につける。

1 年間のカリキュラムの積み上げの結果として、自ら計画したテーマに従って成果物を制作することを目標として制作演習を行う。システム設計基礎、システム設計演習、Access で学習した成果を目に見えるものとし積み上げた内容を確実に身につける。

【シナリオ7】

2 年間のカリキュラムの積み上げの結果として、自ら計画したテーマに従って成果物を制作することを目標としパソコン上で動くア

アプリケーション開発、スマホ用アプリ開発、ロボットや周辺機器の制御を行うプログラム開発、ドキュメントの作成、卒業論文などを学習していくことで積み上げた内容を確実に身につける。

<<ITビジネス選択>>

【シナリオ1】

インターネットの仕組みと Web システム、データマイニングを学び基礎技術を身に付ける。

【シナリオ2】

Windows OS の基本操作とネットワーク及びセキュリティ設定の知識を身に付ける。

社会人基礎力の向上を図り、総合職として重要なビジネススキルとコミュニケーションスキルを身に付ける。

【シナリオ3】

営業に活かすツールとして、AI・ICT 等の基礎知識を学び、業務の正確性・効率性の向上を図ることができる。

【シナリオ4】

ビジネスパーソンとして業務上理解しておくべき基本的な経営戦略や情報システム戦略、財務や法律知識、コンプライアンスについて理解できる。

【シナリオ5】

IT とビジネスの両面から基礎知識を幅広く習得するとともに、テクノロジーを活用して情報を検索・分析・整理し、考えを発信・共有できることを目指す。

【シナリオ6】

就職活動に向けて、十分な準備・対策を行い、出口の強化を図る。アクティブラーニングを積極的に行っていき、能動的な人材を目指す。

【シナリオ7】

最終学科全体のカリキュラムの積み上げの結果として、自ら計画したテーマに従って成果物を制作できる。

セキュリティネットワーク科 カリキュラムポリシー

【シナリオ1】

セキュリティネットワーク科で実施される全ての授業に必要なコンピュータとネットワークの基本的な知識の習得を目的とする。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなどの情報リテラシー分野と近年普及しているクラウドコンピューティング分野の知識を身につける。

【シナリオ2】

セキュリティエンジニア及びネットワークエンジニアに必要な基本的な知識の習得を目的とする。情報セキュリティマネジメント試験及び工事担任者試験の学習範囲をベースにセキュリティ対策の考え方や通信の仕組み、関連法規の知識を身に付ける。

【シナリオ3】

セキュリティ責任者又は担当者に必要となる基本的な知識の習得を目的とし、情報セキュリティマネジメントシステムやリスクマネジメントなどの用語や要求事項及び申請の仕組みなどを学習することで、セキュリティに強い組織の構築技術を習得する。

【シナリオ4】

インターネット環境における脆弱性や脅威、サイバー攻撃の種類や特徴、仕組みを理解し、適切な対策ができる技術の習得を目的とし、脆弱性診断やペネトレーションテストなどの疑似攻撃演習やモニタリング、分析技術を学ぶことでセキュアな Web システムの構築技術を身につける。

【シナリオ5】

ネットワークの設計手法及びネットワーク機器を取り扱う基本的な知識の習得を目的とし、一般家庭でも利用されている小規模用のネットワーク機器から多くの企業で利用されている中規模用ネットワーク機器まで、様々な機器を使用した演習を通して、ニーズに合ったネットワーク設計及び施工技術を身につける。

【シナリオ 6】

サーバーエンジニアに必要とされるオペレーティングシステムとセキュリティ設定の知識の習得を目的とし、サーバーに利用される代表的なオペレーティングシステムである Linux OS と Windows Server OS のインストール及びサーバー構築、セキュリティ設定の演習を通してセキュアなサーバーの構築技術を身につける。

【シナリオ 7】

1 年次、2 年次のまとめとして、これまでに身につけた知識と技術を活用し、チームでセキュアなネットワークシステムの設計、構築を目的とする。1 年次には、小規模のクライアントサーバーシステム、2 年次にはサイバー攻撃に対応したシステムの設計、構築の技術を身につける

ゲームクリエイト科 カリキュラムポリシー

【シナリオ 1】

ゲーム制作分野におけるキャラクタ、背景、エフェクトなど 2D（平面）画像制作に必要な画像編集に関連する技術の習得を目的に、デジタル画像の基礎知識に関する講義、及び画像編集ソフト（Adobe Photoshop、Adobe Illustrator）を利用して、デジタル画像制作演習を行う。

【シナリオ 2】

ゲーム制作分野に必要な 3 次元コンピュータグラフィックス（3DCG）制作技術（モデリング、レンダリング、テクスチャリング、アニメーション）の習得を目的に、3DCG の基礎知識に関する講義、及び 3DCG 制作ソフト）の利用法と、それを用いてゲームアセット制作演習を行う。

【シナリオ 3】

Web サイト制作に関する知識と技術の習得を目的に、幅広い Web 分野に関する講義、及び Web サイト制作に関する技術の演習を行う。

【シナリオ 4】

プログラミング言語に関する知識と技術の習得を目的に、言語習得に関する講義、及び学習した言語を用いてのアプリケーション制作演習を行う。

【シナリオ 5】

ゲーム制作に必要なプログラミングに関する知識と技術の習得を目的に、ゲーム制作に関する講義、及びゲームプログラミングに関する演習を行う。

【シナリオ 6】

ゲーム制作に必要なゲーム制作を支援するソフトウェア（ゲームエンジン）に関する知識と技術の習得を目的に、それらに関する講義と実習を行い、それらを用いてゲーム制作の実習を行う。

【シナリオ 7】

習得した技術の確認と、一連のゲーム制作を経験することを目的に、習得した技術を基にして個人、あるいはグループでゲーム制作演習を行う。

【シナリオ 8】

ゲーム開発に必要な情報技術の根幹的な知識・技術の習得を目標とする。

基本情報技術者試験 午前試験免除制度のカリキュラムを授業の主体として学習し、基本情報技術者試験(国家試験)の合格を目指すとともに、高度 IT 人材となるために必要な基本的知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につける。

未来こども科 カリキュラムポリシー

【シナリオ1】

近畿大学九州短期大学との併修により、幼稚園教諭に必要な専門的知識を習得する。

【シナリオ2】

指定保育士養成課程における保育士資格に必要な専門的知識を修得する。

【シナリオ3】

社会人、保育者として必要なマナー、国語力、情報処理技術を修得する。

【シナリオ4】

保育者として必要な各分野、領域における保育技術、表現技術、指導技術等スキルを修得する。

【シナリオ5】

幼稚園教諭、保育士としての付加価値を高めるため追加スキルの習得、保育関連資格を取得する。

【シナリオ6】

幼稚園、保育所、認定こども園、児童福祉施設等において、習得した教科全体の知識、技能を基礎として、これらを総合的に実践する応用能力を養う。また、理論と実践との関係について習熟させる。

【シナリオ7】

各学年の学びの成果として、保育におけるさまざまな表現方法の中から、方法や題材を選び、保育現場における表現活動について研究を進め、一つの作品をつくりあげる。

【シナリオ8】

学科全体のカリキュラムの積み上げの結果として、自ら選択したテーマに従って卒業論文を作成する。

医療事務科 カリキュラムポリシー

【シナリオ1】

社会人として持続的に活躍するために必要な自身の健康管理について学習や体験をとおして、社会人になる為の生活基礎力を身につけることができる。

【シナリオ2】

社会に必要なビジネスマナーを学習し身に付ける。同時に検定試験対策のための理論や実践を学び、資格取得に挑戦する。また、硬筆書写の基礎を学び医療事務業務に役立てることができる。

【シナリオ3】

診療報酬請求事務能力認定試験のための学習を行う、検定取得を目指すことができる。診療報酬請求事務（レセプト）のコンピュータ化のための学習を行い、検定取得を目指すことができる。

【シナリオ4】

医療秘書取得の為、将来目指す、医療業界の研究を行う。医療秘書としての知識や身体の基本的な名称と機能を学習し医療秘書検定取得を目指す事ができる。

医師事務作業補助技能認定試験のための学習や電子カルテの演習を行い、医師事務作業の補助項目について理解で

きる。

【シナリオ5】

保険薬局に必要な調剤事務等の知識を学習し、検定取得を目指す事ができる。

【シナリオ6】

介護施設や病院に必要な介護事務等の知識を学習し、検定取得を目指すことができる。

【シナリオ7】

病院窓口や患者対応で必要とされる基本的な英会話、ポルトガル語を使ったコミュニケーションができる。また、コミュニケーションをとるためのよりよい会話の流れや会話の基本に基づいたコミュニケーションをとることができる。

医療現場の場面にあったメイク、及びファッションをする事で医療事務としてのイメージ作りができる。

アロマセラピーの基礎を学び、アロマオイルを利用したメディカルアロマをすることができる。

色彩学の基礎を学び、医療現場や自分に合った色を探すことができる。

【シナリオ8】

プレゼンテーションを実施する事ができる。

マイクロソフトオフィススペシャリスト試験（Word/Excel）取得のための学習を行い、オフィス製品の多機能を医療現場においてを効率的に利用することができる。

ビジネスにおいて必要となる各種文書を取り上げ、場面に応じた各種文書を作成することができる。

パソコンの周辺装置の扱いや、ネットワーク上の知識や操作、役立つ各種アプリケーションの知識を利用して業務を効率化できる。

【シナリオ9】

1年次後期には、病院の実際業務を幅広く体験し、医療人としての心構えを養う。

その後2年間の成果として、卒業研究を行い まとめとして研究発表を行うことができる。

国際 IT・CAD 科 カリキュラムポリシー

【シナリオ1】

専門知識や技能を習得するための高度な日本語力を身につけることを目標とする。オフィシャルな場で使用できる語彙と正確な文法の習得を通し、書く、読む、聞く、話す、の4技能のバランスよく向上させる。

【シナリオ2】

日本社会で活躍できる人材になるため、日本社会を理解し、自分自身の意見を持てるようになることを目標とする。日本文化、社会、風習、日本人の考え方等の基本事項や一般常識を習得した上で、新聞講読等を行い、社会情勢を理解する。

【シナリオ3】

社会人として必要となるビジネススキル全般の習得を目標とする。基本的なビジネスマナーをはじめ、ビジネスメール、ビジネス文書の作成を学習する。また、さまざまなビジネス場面を想定したロールプレイを行い、課題達成のためのビジネスコミュニケーションを習得する。

【シナリオ4】

日本の就職活動は世界的に見ても特徴的である。その日本で就職するために、就職・就労に関するルールを理解し、就職活動、就労準備を行えるようになることを目標とする。就労するにあたり必要な在留資格の種類や、許可されている活動範囲について学ぶ。

【シナリオ5】

グローバル社会で活躍する人材となるための基礎知識を学ぶことを目標とする。営業、経営、財務、マーケティングと幅広い分野をまんべんなく学習し、会社組織を理解する。

【シナリオ6】

他国者来な人材がともに働く環境において、周りとの調和しながら働き、さらにそのまとめ役となる知識およびスキルを身につけることを目標とする。異文化理解、セルフコントロールを学び、ケーススタディを通して、問題解決を図る能力を習得する。

【シナリオ7】

社会人として必要な IT スキルを習得することを目標とする。日本語環境でのパソコン基本操作、Microsoft Office の実践的な操作を習得し、お客様に伝わるビジネス文書の作成やプレゼンテーションが行えるスキルを身につける。

【シナリオ8】

CAD に関わる基礎知識の習得を証明する CAD の資格試験に合格することを目標とする。CAD システムを取り巻く環境（コンピュータのハードウェアやソフトウェア、ネットワーク等）の知識、製図の知識、図形についての知識を身に付ける。

【シナリオ9】

製造業で必要となる CAD を活用した製品の製造について基礎知識の習得を目標とする。2次元 CAD, 3次元 CAD による作図技術を学ぶ。さらに、設計図面に起こしたものを実際に製作し、設計から生産まで一貫した過程を経験する。

【シナリオ10】

生産技術者、製造技術者に必要とされる製造ラインシステム設計の習得を目標とする。まずは、リレーを用いたシーケンス制御の基礎回路、応用回路について学習し、次に、生産現場において、主流となっているシーケンサによる制御の基礎知識を身につける。また、NC 工作機械のプログラムについても学習する。具体的には、制御手順のアルゴリズムの考え方や制御に必要な各種センサの使い方を学び、リレーを用いた制御回路実習、シーケンサを用いたプログラム作成演習、NC 加工機を使った加工演習まで行う。

国際観光・ビジネス科 カリキュラムポリシー

【シナリオ1】

専門知識や技能を習得するための高度な日本語力を身につけることを目標とする。オフィシャルな場で使用できる語彙と正確な文法の習得を通し、書く、読む、聞く、話す、の4技能のバランスよく向上させる。

【シナリオ2】

日本社会で活躍できる人材になるため、日本社会を理解し、自分自身の意見を持てるようになることを目標とする。日本文化、社会、風習、日本人の考え方等の基本事項や一般常識を習得した上で、新聞講読等を行い、社会情勢を理解する。

【シナリオ3】

社会人として必要となるビジネススキル全般の習得を目標とする。基本的なビジネスマナーをはじめ、ビジネスメール、ビジネス文書の作成を学習する。また、さまざまなビジネス場面を想定したロールプレイを行い、課題達成のためのビジネスコミュニケーションを習得する。

【シナリオ4】

日本の就職活動は世界的に見ても特徴的である。その日本で就職するために、就職・就労に関するルールを理解し、就職活動、就労準備を行えるようになることを目標とする。就労するにあたり必要な在留資格の種類や、許可されている活動範囲について学ぶ。

【シナリオ5】

グローバル社会で活躍する人材となるための基礎知識を学ぶことを目標とする。営業、経営、財務、マーケティングと幅広い分野をまんべんなく学習し、会社組織を理解する。

【シナリオ6】

他国者来な人材がともに働く環境において、周りとの調和しながら働き、さらにそのまとめ役となる知識およびスキルを身につけることを目標とする。異文化理解、セルフコントロールを学び、ケーススタディを通して、問題解決を図る能力を習得する。

【シナリオ 7】

社会人として必要な IT スキルを習得することを目標とする。日本語環境でのパソコン基本操作、Microsoft Office の実践的な操作を習得し、お客様に伝わるビジネス文書の作成やプレゼンテーションが行えるスキルを身につける。

【シナリオ 8】

宿泊業界への就職を目指し、ホテルや旅館などの宿泊施設で働くために必要な知識とスキルを身につけることを目標とする。宿泊業界全般の基礎知識、宿泊施設での業務を学習し、地域密着型の小規模施設から世界規模のホテルまで幅広く研究する。

【シナリオ 9】

観光業界において業務を行うための知識と技能を身につける。観光という視点で日本の地理を学び、ツアーの企画、運営が行えるまでの知識と技能を養う。

【シナリオ 10】

グローバルに活躍するサービススタッフになるよう、語学を学ぶ。ホテルのさまざまなオペレーションを英語でできるように学習、トレーニングを行う。また、選択言語では中国語を学び、国別の訪日外国人数が最も多い中国人のお客様と簡単なやりとりができるようになることを目指す。

【シナリオ 11】

接客業務を行うためのサービス接遇スキルを習得する。サービスに関する知識、技能を学び、「おもてなし」の精神を大切に、お客様の立場に立った接客を行えるようになるよう、ロールプレイやケーススタディを徹底して行う。

国際介護福祉科 カリキュラムポリシー

【シナリオ 1】

介護施設で必要とされる基礎的な仕事の内容や手順を学びながら、施設利用者やその家族、職員と円滑なコミュニケーションができる日本語会話力や職場における初歩的な「報・連・相」を身につける。

【シナリオ 2】

介護福祉士の基盤となる「社会のしくみ」「人権と権利擁護」「社会保障」について学習し、人や制度について理解する。

【シナリオ 3】

介護福祉士の仕事内容について「介護の基本」「身体介護」「生活援助」「相談援助」と分野別に学習をし、介護福祉士の仕事内容を理解するとともに、介護現場で対応できる介護技術を身につける。

【シナリオ 4】

利用者のこころとからだについて「こころのしくみ」「からだのしくみ」「疾病や障害」「喀痰吸引や経管栄養」と分野別に学習をし、介護現場で必要な利用者を理解するための知識を身につける。

【シナリオ 5】

実践に必要な知識・技術・姿勢を学んだうえで明確な実習課題を設定し、実時間 450 時間の介護実習カリキュラムを修了する。

【シナリオ 6】

介護福祉士国家試験合格基準に達する。

■ 2019・2020年度の入学生

全学科共通カリキュラムポリシー（C P）教育課程の編成の方針

本校は、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。

さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員からの意見を聴収する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。

セキュリティネットワーク科 カリキュラムポリシー

セキュリティネットワーク科は、本校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「セキュリティ」「ネットワーク」「クラウドやI o TなどのICT利活用」の授業科目を中心に、2年間で基礎から応用までを習得するため講義・演習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

情報基礎理論や、ネットワーク基礎理論、情報セキュリティ概論など、ネットワーク及びセキュリティに関する基本的な科目を開設する。さらに、セキュリティエンジニアに必要なセキュリティ技術、小規模ネットワーク構築技術、クラウド技術やI o TなどのICT利活用の学習を通して、新しい分野のネットワークシステム構築スキルを養うための科目を開設する。

【2年次】

1年次に学習した基礎知識を活かし、さらに実践的な技術を習得するための科目を開設する。情報セキュリティシステムや中規模ネットワーク構築、セキュリティ設定を施した各種サーバー構築などの応用技術を習得するための科目を開設する。

コンピュータ科 カリキュラムポリシー

コンピュータ科は、本校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「プログラミング」「ネットワーク・セキュリティ」「データベース」のIT3大スキル授業科目を中心に、2年間で基礎から応用までを習得するため講義・演習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1 年次】

情報基礎理論や、コンピュータシステム、ネットワーク、データベース、セキュリティなど、コンピュータに関する基本的な科目を開設する。さらに、システム設計やアルゴリズム、プログラム言語の学習を通して、システム開発スキルを養うための科目を開設する。また、オフィスツールとして Word、Excel、PowerPoint を、1 から丁寧に学習できる科目も開設する。

【2 年次】

1 年次に学習した基礎知識を活かし、さらに実践的な技術を習得するための科目を開設する。プログラミング言語では、オブジェクト指向型言語を使用して、データベースと連携した Web アプリケーションを構築するための科目を開設する。また、2 年間の締めくくりとして、卒業研究によるシステム構築を行う科目を開設する。

ゲームクリエイト科 カリキュラムポリシー

ゲーム業界で活躍できるプログラマ、クリエイターの育成を目標に、プログラム教育を中心としたカリキュラムを実施していく。プログラミング教育では C、C++、C#などのゲーム業界で利用されているプログラミング言語を、IT 系の知識に関しては、基本情報技術者試験取得レベルの学習を実施していく。また、ゲーム制作に必要な企画力、設計力、グラフィック知識などゲーム制作技術全般にわたり学習し、ゲームに関する幅広い知識を習得するための科目もバランスよく編成している。

【1 年次】

コンピュータを利用していくうえで最低限必要なハードウェア、ソフトウェア、ネットワークに関する基礎知識を基本情報技術者試験習得レベルの学習に沿って確実に理解する。また、プログラミング言語として C 言語を習得し、ゲーム制作の演習では、2 次元プログラミングでゲーム開発を行い、ゲームプログラミングの基礎技術を習得する。

【2 年次】

1 年次に習得した知識を基に、実践的なゲーム制作技術の習得を目指す。1 年生で学んだゲームプログラミングの基礎技術を発展させた 3 次元プログラミング技術を学習し、さらに、それを用いたゲーム開発の演習を行う。また、ゲーム業界への就職活動に備え、個々の進路に応じた専門的技術のスキルアップを図る実習も行っていく。

【3 年次】

3 年次では、さらに高度なゲーム制作の知識、技術の習得を目指す。具体的には、ネットワークプログラミング・高度な 3 次元プログラミング、併せて、企業などの大規模なゲーム開発のための技術の習得を目指す。後期には、学習の集大成として卒業研究を行い、グループまたは個人でのゲーム開発に取り組む。

CAD 科 カリキュラムポリシー

CAD 科は、本校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針

(ディプロマポリシー)に掲げる人材を育成するために、「ものづくりの基礎」や「C A D技術」に加えて、良識と倫理観、機械要素、機械システムやそれらを使ったモノを創り出すプロセスを、2年間で基礎から応用までを習得するため講義・演習を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

基礎となるC A Dの基本操作の操作を修得する科目を開設する。「3次元C A D」では技術を学びながら立体を把握する能力を修得する。「2次元C A D」では操作技術を修得するとともに製図への理解度も深める。「材料力学」や「機械要素」といった、ものづくり分野の基礎知識を学習する科目も開設し、方針の実現を目指す。

【2年次】

1年次に学習した基礎知識・技術を活かし、さらに実践的な知識・技術を習得するための科目を開設する。実物制作する経験を積み、実際に製作する為のモデリング技術を修得させる。計画を立てそれを遂行する科目を開設し、チームを組織して動かす能力を身につける。これまでに習得した知識を実践的問題に応用する科目を開設することで、問題解決・デザイン能力を育成し、技術者として必要不可欠になる基礎を身につける。

ビジネスライセンス科 カリキュラムポリシー

ビジネスライセンス科は、本校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「ビジネスマナーの習得」「ビジネスソフトの活用」「ビジネス知識」3つの柱を軸に、2年間で基礎から応用まで習得するための講義・企業連携授業を通して、バランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

1年次から就職を意識し、資格取得とビジネス能力の向上に努める科目を開設する。社会人として必要なビジネスマナーや商業分野、工業分野等の基礎知識を学ぶ。ファイナンシャルプランニング、簿記検定、販売士、秘書検定等の科目を開設し、オフィスツールとして、ワープロ、表計算、MOS(Word・Excel・PowerPoint・Access)の科目も開設する。社会人として必要なコミュニケーション能力実践を図る科目も開設する。

【2年次】

1年次に学習した基礎知識を活かして、上位資格取得と実践的にビジネスの現場で活かせる科目を開設する。企業・事業等で広く活用されているソフト等の利用技術の応用を身に付け、実践で活かせる人材を目指す。特に事務職・営業職で活かせる社会人基礎力とテクノロジーを融合させた能力を目指す。2年間の締めくくりとして、卒業研究発表を行い、論文の作成・プレゼンテーションを実施する。

医療事務科 カリキュラムポリシー

医療事務科は、本校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「医療」「情報」「ビジネス」の3つの柱を軸に、2年間で基礎から応用までを習得するため講義・実習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

医療業界を知り、医療事務の基礎を身に付ける科目を開設する。

ビジネスマナー教育と医療保険教育の徹底に向けて、サービス接遇検定、医療事務検定試験、レセプトチェック検定試験の対策授業を行う。また、現代社会に必須なパソコンの基本技能の習得を目指して、ワープロ検定、表計算検定、MOS-Wordの科目も開設する。そして、1年間学んだ医療関連の知識と実際の医療現場を体験できる病院実習を設けることにより座学で学んだ医療の知識と実際の体験を合わせることで実力の定着を図る。

【2年次】

就職に備え、上位資格の取得と関連知識の習得を行い、厳しい就職活動の中で積極的に行動できる人材の育成を目指す。

まず初めに、病院における新たな業務に対応できる技能の習得を目標に、診療報酬請求事務能力認定試験、医事コンピュータ、ドクターズクラーク、調剤事務などについて学ぶ。また、現代の企業・病院で広く活用されているアプリケーションソフト等の活用技術を習得する為に、Word、Excel、Access、ホームページ作成、MOS-Excelなどを開設する。

そして、2年間の締めくくりとして医療関連分野の卒業研究を行い論文作成、プレゼンテーションの機会を設け実施することで2年間の集大成とする。

こども保育科 カリキュラムポリシー

こども保育科は、本校の教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）及び近畿大学九州短期大学通信教育部保育科との連携の下、卒業認定・専門士授与の方針を育成するために、「保育」「幼児教育」に関する知識・技術を幅広く学習し、3年間で基礎から応用までを習得するため講義・演習・実習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

保育者としての基礎力を身につける。

保育・幼児教育に関する専門的知識や技術の習得のための基本的な科目を開設する。また、実社会に出るための教育が行われることを理解するため、マナーや社会常識についても学んでいく。これらのことを土台として、自主実習やボランティア活動を行い、自分の目指す保育者像を具体化できる人材育成を目指す。

【2年次】

保育者としての専門力を身につける。

保育の内容や方法、保育の表現・技能、実習等の専門性を身につける科目を開設する。さらに学校で学んだことを実習で実践し、積極的に行動できる人材育成を目指す。

【3年次】

保育者としての実践力を身につけ、専門分野への就職を目指す。

1, 2 年時の学びを土台に、保育者として必要な実践力や応用力を身につける科目を開設する。特に演習授業、幼稚園・保育所・施設実習を通して、保育技術を向上させる。また、後期には学習の集大成として個人単位で保育・幼児教育に関するテーマを設定し、保育・幼児教育の理論と実習による実践の関係について学びを深めるため卒業研究に取り組む。

【1～3 年】

各学年の集大成として、学年またはグループ単位で保育現場における表現活動について研究を進め、一つの作品をつくりあげる。保育者としての表現に関する技術や知識を身につけた感性豊かな人材育成を目指す。

国際 IT ビジネス科 カリキュラムポリシー

国際 IT ビジネス科は、本校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、「高度なコミュニケーション能力」「日本文化・社会への理解」という日本社会で働いていくための基盤の上に「専門知識・技術」を習得するよう、その基礎から応用までを講義、実習を通して、バランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1 年次】

2 年次から開始する専門科目の準備段階として、1 年次はコミュニケーション能力の向上と IT 基礎技術の習得を図る科目を開設する。

まず、コミュニケーション能力の向上のため、日本語および英語を開設する。アクティブラーニングを実践し、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能をバランスよく伸ばしていく。また、留学生に対しては日本語能力試験 N2 の合格、日本人学生に対しては TOEIC の点数獲得の目指し、対策授業を行う。IT 基礎技術の習得では、パソコンの基本操作から一般的なアプリケーションの基礎スキルまでを身につけるワープロ、表計算の科目も開設する。

【2 年次】

就職を希望する業界の専門知識と技術の基礎を身につけるための科目を開設する。

製造業での就職を希望する学生向けには、アルゴリズム、プログラム言語といった IT 技術を習得する科目と、基礎製図、CAD、NC といった工業デザインを学ぶ科目を開設する。観光業での就職を目指す学生には、観光地理、ホテルなどの知識と接客スキルを習得する科目を開設する。また、共通の科目として、ビジネス文書、ビジネスマナー、プレゼンテーション技法、IT 基礎技術等も開設し、専門知識だけに偏らない、社会人として必須となるビジネススキルを習得するための科目もバランスよく配置する。

【3 年次】

2 年次に習得した専門知識と技術を活かし、資格取得と実践能力を身につける科目を開講する。

製造業での就職を目指す学生向けには、現場で活躍できる技術者となるために、システム開発演習、機械 CAD 演習等、実践的な授業を開講する。また、CAD 利用技術者試験のための対策授業も行う。観光業での就職を目指す学生には、あらゆる場面でも対応できる高度な接客スキルを習得するために、2 年次に引き続きサービス・接遇を主軸とした科目を開設する。また、集大成として、研修旅行の企画、運営、実施を行う。